

まきびと カルデアの牧人 ～校長だより～ No.5

高校生にも絵本を

図書館の一角に新しくおすすめ絵本のコーナーを設けてもらいました。

私が「絵本専門士」という資格を持っていて高校生や先生方にももっと絵本に親しんでほしいという思いを持っていたのと、本校事務室の方が地域の学校で読み聞かせをされていて絵本に詳しいこともあり、「では、一緒にやりましょう」ということで今回の企画が実現しました。学校司書さんにも全面的に協力していただき、生徒も気に入った絵本に直筆でPOPを付け加えてくれました。感謝です。

第1回目のテーマは「新しいドアを開けよう！」 「可能性を開き、チャレンジを支える」をモットーにしている大東高校にふさわしいもの、総体後の生徒たちの気持ちの切り換えのタイミングにふさわしいものをとということでテーマを決めました。選んだ絵本は10冊。「何かを始めよう」とか「始めたいけどなかなか…」というような時に会ってほしい絵本ということで選書しています。(選書時には20冊ほどの絵本が並び、悩みました)



「高校生に絵本？」と思われかもしれませんが、大人になっても、ふとしたきっかけで出会った絵本がスッと心に届くことがあります。幼い頃に読んでもらった絵本を懐かしさで手にとってみて、また当時とは違った発見をすることもあります。そんな出会いや発見を期待して続けていきたいと思えます。

この写真を撮ったときには1学期の始業式でも紹介した『てん』(ピーター・レイノルズ作/谷川俊太郎訳/あすなろ書房)がすでに借りられていました。この本との出会いは生徒のどんなところのドアを開いてくれるでしょうか？